

経営比較分析表（令和5年度決算）

埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	14.69	101.71	2,145

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,859	38.64	462.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,614	1.16	2,253.45

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
前年度と比べ、2.9%減少した。これは、令和5年度が打ち切り決算であったことから、総収益が608千円、総費用が2,072千円減少し、一方で企業債償還金が前年度と比べ4,412千円増加したことが比率が下がる要因となった。

④企業債残高対事業規模比率
前年度と比べ、124.82%増加した。打ち切り決算の影響により営業収益が前年度比3,451千円、11.8%減少したことが比率を増加させた要因である。

⑤経費回収率
前年度と比べ、10.28%減少した。令和5年度の使用料収入及び汚水処理費はそれぞれ23,218千円（対前年度比3,619千円減）、31,053千円（対前年度比503千円減）となっており、これらの減少要因は打ち切り決算によるものである。

⑥汚水処理原価
150円ほどでほぼ横ばいで推移している。令和5年度は汚水処理維持管理費が19,179千円で前年度比955千円減、汚水処理資本費が11,874千円で前年度比452千円増となっており、汚水処理原価としては前年度水準で留まった。

⑧水洗化率
前年度と比べ、2.13%増加した。現在処理区域内人口が前年度比67人減少したことが要因である。

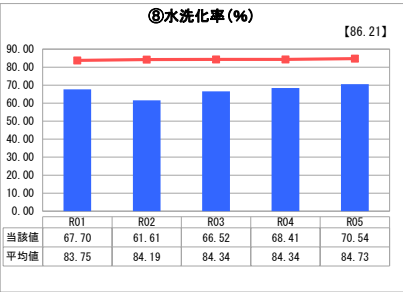
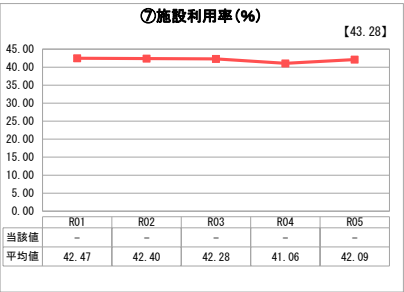
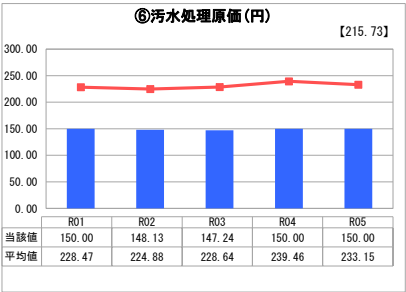
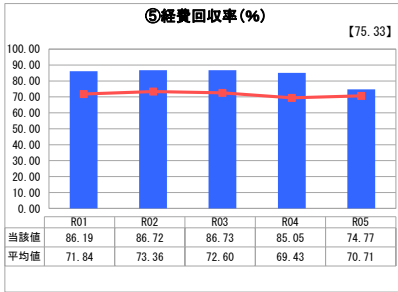
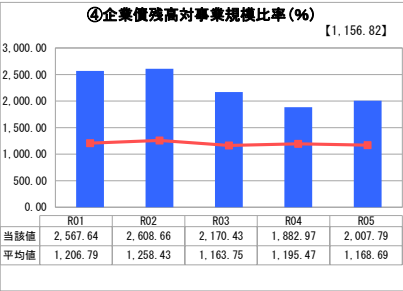
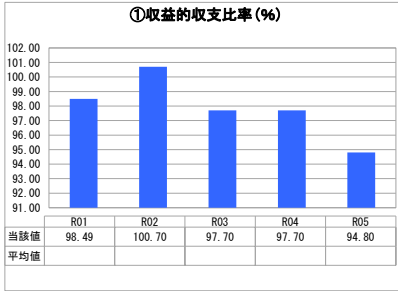
2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
例年、0.00%となっているが、今後は、管渠の更新及び耐震化等について計画的に進めていく。

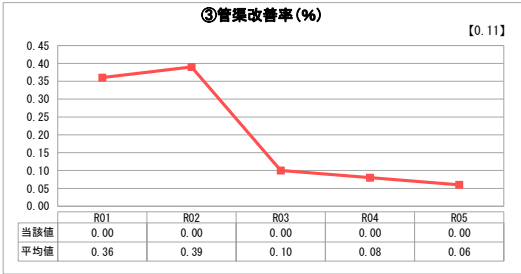
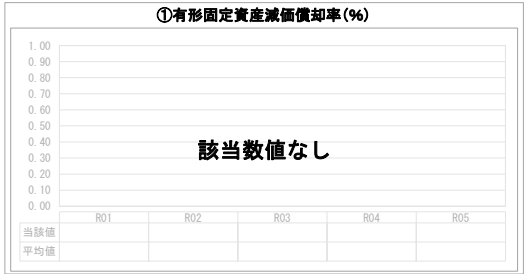
全体総括

収益的収支及び経費回収率は前年度と比べ、打ち切り決算の影響により減少した。新規借入額を償還額が上回っているため、企業債残高対事業規模比率は昨年度と比べ減少した。経営状況の悪化は見られないが、今後も継続促進や経費削減を行い、計画的で安定的な経営を実施していく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。